

元気フェスタ

播摩優子¹⁾、古川照美¹⁾、谷川涼子¹⁾、増田貴人²⁾、生島美和³⁾、看護学科2年生¹⁾

1) 青森県立保健大学、2) 弘前大学、3) 帝京大学

Key Words ① 動画による健康教育 ② 家族支援 ③ ヘルスリテラシー

I. はじめに

看護学科2年生必修科目である「家族援助論」では、家族に関する基本的な知識のほか、家族看護、家族支援の具体的方法について理解し、地域における家族支援の実際を、主にヘルスリテラシー向上の視点からシミュレーションし、地域の人々の健康の維持増進と学生のヘルスリテラシー向上を目指す内容となっている。今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、イベント会場における活動は難しいと判断し、「動画配信」で地域における家族支援の実際を健康教育として動画配信し、学生及び地域住民のヘルスリテラシーの向上を支援する活動を試みた。また、これまで作成した動画を再編集した。次年度以降、再編集した動画をオンライン上にアップ（YouTubeにて限定公開）し、学生の学習や一般住民の健康づくりのために活用する予定である。

II. 活動目的

本活動は、教育プログラムの一環で、ヘルスリテラシー向上を意図した、家族支援と地域活動を結びつけた点に特徴を有している。活動の目的としては2点あげられる。青森県としての地域特性、家族支援の具体的方法、健康教育の方法を学んだ上で、家族支援という視点を盛り込み、地域の健康課題解決につながる健康教育を企画・準備・実践し、地域住民に動画を視聴していただくことにより、学生自身のヘルスリテラシーと地域活動意識の向上を目指すこと。多様な形態がある家族に対する、学生による様々な教材を用いた健康教育等により、住民のヘルスリテラシー向上につながることである。

III. 活動内容

主な内容については以下の通りである。

第1～2回	オリエンテーション、家族の機能・家族の構造
第3～4回	地域で育児をするということ、地域で支援するという事
第5回	家族支援(援助)とは、障害のある子どもと家族看護
第6～7回	地域における家族支援プログラムの企画
第8～9回	地域における家族支援プログラムの準備(教材の作成など)
第10～13回	地域における家族支援プログラムの実施(動画の撮影、編集)
第14～15回	ふりかえり

学内でのコロナ感染症の感染状況により、動画の撮影が遅くなったグループもあったが、1月20日までに動画は完成し、1月20日(金)～30日(月)に限定公開された。18本の動画がアップロードされた。4つの自治体、1つの団体および教職員にお知らせし、視聴を促した。そして、18本の動画を専門家に依頼し、次年度からの授業等で活用できるように再編集した。

【プログラムの一部】※プログラムは一般配布用

令和4年度 家族援助論 「元気フェスタ!!」動画配信 プログラム

青森県立保健大学看護学科2年生必修科目である「家族援助論」では、地域における家族支援という視点から、「元気フェスタ!!」を毎年開催してきました。今回も健康教育の動画配信という形で、地域住民のヘルスリテラシーの向上を目指します。


学生たちが青森県の健康課題についての、下記のテーマに関する動画を作成しました。1月24日(火)～30日(月)の間に視聴することができます。是非視聴してみてください。また、学生へのフィードバックのため、視聴後、各々の動画について、下記のURLからアンケートにご回答していただけますよう、お願いいたします。

視聴後アンケートフォーム

↓

<https://forms.office.com/r/VPTdetkDrL>



大テーマ	G	テーマ	URL
口の健康	1	正しくお口のケアして歯 APPY!!	https://youtu.be/v2WVeittOUw 
	2	『ワニオくんといっしょ ～ 仕上げ歯磨きのやり方って? ～』	https://youtu.be/raX-INqACQA 

【動画の一部】



IV. まとめ

限定公開期間中、学生の視聴も含め、772件のアンケートの回答があった。動画のわかりやすさ、内容の有益さ、家族の健康支援につながる点、情報量、飽きずに見ることができたか、資料や教材の工夫、表情・声・姿勢、誰かに紹介したい内容か、などの評価項目について多くの動画が、「とてもそう思う」または「そう思う」との回答であった（全体的に8割以上が「とてもそう思う」または「そう思う」と回答）。年々、動画の完成度が高くなっており、評価もよかった。期間が短い限定公開であったが、アンケートの内容から有益さが伺われた。一部、流行や楽しさを優先し「根拠に基づいた情報」に欠ける内容もあったため、健康教育の視点を振り返りながら、本動画の活用方法について検討し、さらに地域住民のヘルスリテラシー向上に貢献できればと考えている。

【連絡先】青森県立保健大学 播摩優子

所属先住所：青森市大字浜館字間瀬 58-1 メールアドレス：y_harima@auhw.ac.jp